

平成 28 年度事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

公益社団法人 顔と心と体研究会

1. メイクボランティア及びメイクボランティア講習

高齢者施設・障がい者施設等の施設を訪問し、施設入居者及び利用者に化粧の提供及び化粧を通じたスキンシップ・コミュニケーションを行い、被術者及びその介護・介助者の QOL の改善・向上を図るとともに、ボランティア参加者にも満足感が得られるような機会を提供する。

(1) メイクボランティア

平成 28 年度は、1 都 2 府 13 県の施設に 118 回訪問しメイクボランティアを実施した。

【月別実施回数及び参加人数】

平成 28 年

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
回数	10	12	10	14	6	13	11	12	9
人数	41	45	44	53	18	46	39	43	33

平成 29 年

月	1 月	2 月	3 月	計
回数	7	6	8	118
人数	25	19	23	429

【地域別実施回数及び参加人数】

地域	回数	人数	地域	回数	人数
東京	36	133	埼玉	5	18
神奈川	15	64	広島	4	12
大阪	15	72	千葉	3	13
高知	11	16	福岡	3	14
富山	7	22	愛知	3	14
新潟	7	29	その他	9	22

(2) メイクボランティア講習会

メイクボランティア参加者に基礎的なメイク技術を身につけるための講習を実施し、またスキルアップ講習（コミュニケーション編・メイク実技編）を実施した。

メイクボランティアのリーダー経験者ならびに候補者による意見交換会も開催した。

平成 28 年

	月日	場所	種別	参加者	講師
①	4 月 16 日 (土)	東京	スキルアップ	6	西奈まるか

②	4月16日(土)	東京	基礎	9	志麻裕子
③	5月14日(土)	大阪	基礎	5	井上英子
④	5月14日(土)	大阪	スキルアップ	2	井上英子
⑤	5月28日(土)	大阪	リーダー意見交換会	9	西奈まるか
⑥	6月11日(土)	東京	基礎	29	志麻裕子
⑦	6月25日(土)	東京	リーダー意見交換会	6	西奈まるか
⑧	7月2日(土)	東京	スキルアップ	6(5)	西奈まるか
⑨	7月3日(日) AM	東京	基礎	8	志麻裕子 敷田多美子
⑩	7月3日(日) PM	東京	基礎	8	笠原弘子 敷田多美子
⑪	7月3日(日)	大阪	スキルアップ	6(6)	西奈まるか 小西明代
⑫	7月16日(土)	新潟	スキルアップ	3	志麻裕子
⑬	11月12日(土) AM	東京	基礎	7	志麻裕子 敷田多美子
⑭	11月12日(土) PM	東京	基礎	7	志麻裕子 敷田多美子
⑮	11月13日(日)	大阪	基礎	5	小西明代
⑯	11月19日(土)	東京	スキルアップ	2(4)	西奈まるか
⑰	11月19日(土)	大阪	スキルアップ	2(2)	小西明代

平成 29 年

⑱	2月4日(土)	大阪	基礎	1	小西明代
⑲	2月4日(土)	東京	基礎	5	志麻裕子 敷田多美子
⑳	2月5日(日)	大阪	スキルアップ	2	小西明代
㉑	2月5日(日)	東京	スキルアップ	2(4)	西奈まるか

(基礎編 55 (+29)、スキルアップ 31)

2. 調査研究活動

メイクボランティア及びメイク講座を通じた提携先との協力関係により、化粧が被術者、その介護・介助者及び施術者に与える影響について、調査研究を行う。Visual Analog Scale、WHO QOL26 などの尺度を用い、アンケート調査により得たデータをもとに、化粧の効果を科学的に実証する。

① 「化粧によるストレス軽減効果に関する長期的観察」

期間：平成 27 年 3 月～平成 28 年 3 月迄の 1 年間

内容：肢体不自由のお子様をお持ちの保護者の方へメイク講習を実施し、その後 1

年間のアンケート調査から得られる数値の変化から、化粧の効果について考察する。

活動：調査結果を論文化し、平成 28 年 10 月 15 日のシンポジウムで発表し、その後ホームページで公表した。活動の継続について検討中。

② 「社会的支援を必要とする高齢者へのメイクアップを用いた高齢者・支援者双方の QOL 向上の試み」

文化学園大学応用健康心理学研究室 精神保健学 佐藤浩信准教授との共同研究
期間：平成 27 年 4 月～平成 30 年 3 月迄の 3 年間

内容：メイクボランティアに参加したメイクの施術者について、アンケート調査により、メイクボランティア提供の前後における生きがい、自尊感情などの変化について考察する。メイクを受けた高齢者については、センシングデバイスを用いて感情の変化を数値化し、メイクの与える効果について考察する。

活動：平成 28 年 6 月 1 日にメイクボランティアに参加する学生に対してメイク講習会を実施。同年 6 月 4 日、7 月 30 日、9 月 24 日、平成 29 年 1 月 28 日に施設（緑の郷）を訪問し、データを収集した。研究期間の 1 年延長に合意。来年度もデータ収集を継続する。

3. メイク講座・セミナー・講演

化粧が人の顔と心と体のつながりに与える効果について普及啓発を図るため、各種メイク講座・セミナー・講演を行う。メイク講座等を通じて、提携先との協力により、アンケート調査等を実施し、化粧が与える影響についての調査研究のためのデータを収集する。

① 更正保護法人「両全会」でのメイク講座

内容：就職支援を目的としたセルフメイク講座の提供と指導

日時：平成 28 年 4 月 20 日（水）、7 月 19 日（水）、10 月 19 日（水）、平成 29 年 1 月 19 日（水）、いずれも 19:00～20:00

会場：東京都渋谷区代々木神園町 3 番 40 号

対象者：法務省より依頼を受けた更生施設に入居する、自立を目指す女性

講師：会員 箕浦裕子、会員 中島和江、会員 志麻裕子

② 大阪府立福井高等学校での講演

内容：「人権学習」において、メイクの効果、メイクの仕事について紹介

日時：平成 29 年 2 月 2 日（木）10：40～12：30

会場：大阪府茨木市西福井 3-33-11

対象者：2 年生 42 名

講師：会員 尾田由紀子、アシスタント：会員 古川のりよ

4. 公開講座・シンポジウムの開催

調査研究活動の成果の発表を含めて、顔と心と体のつながりをテーマに化粧が人に与

える効果を広く普及啓発することを目的とした公開講座、及び一般の人に外観の先端医療に関する情報をわかりやすく解説し、顔と心と体のつながりを、各専門家と一般の人が共に考える機会を提供するシンポジウムを開催する。

【第 11 回外観先端医療シンポジウム】

テーマ：「将来の美と健康－食がつくる美－賢く食べる将来のために」

講演者： 高木美保（タレント、コメンテーター、エッセイスト）

鈴木眞理（医学博士・政策研究大学院大学 保健管理センター 教授）

かづきれいこ（公益社団法人 顔と心と体研究会 理事長）

（司会）堤信子（フリーアナウンサー、エッセイスト）

日 時：平成 28 年 10 月 15 日(土) 13 時～16 時半

会 場：政策研究大学院大学 想海樓ホール（東京都港区六本木 7-22-1）

日 程： 理事長挨拶

第 1 部 顔と心と体研究会 研究発表・活動報告

第 2 部 ゲスト基調講演

第 3 部 トークディスカッション

参加者：115 名

5. 情報誌等発行事業

会報誌、ホームページなどを通じて、調査研究活動の成果、公開講座・シンポジウムでの議論を紹介するなど、顔と心と体のつながりをテーマに化粧品が人に与える効果を広く普及啓発する。

① 会報誌の発行

- 第 40 号（平成 28 年 5 月）、第 41 号（8 月）、第 42 号（11 月）
第 43 号（平成 29 年 2 月）

② ホームページで当法人の概要・事業活動報告などを掲載

- 事業報告書・決算報告書、事業計画書・収支予算書、役員・顧問
- 調査研究活動
- 会報誌
- シンポジウム開催報告
- メイクボランティア募集・施設訪問日程、メイクボランティア講習会

6. 化粧品療法士資格認証事業

「外観に関して問題のある」患者に対して、医師と協力しながらメイクとメンタル面のケアを提供する者を資格認証し、患者の社会復帰・社会参加を支援しようとする事業を新規に立ち上げようと計画してきた。平成 28 年 9 月初旬に公益目的事業の変更申請のために内閣府公益認定等委員会事務局に接触し、10 月 31 日に正式に変更申請を行った。その後、委員会事務局より断続的に申請書類の修正要求・質問への回答

要求が入り、それぞれ修正又は回答を提出している。平成 29 年 3 月末現在、委員会事務局に係属中。

制度の発足準備のために、化粧療法士資格認証制度委員会を新設し、医療系科目、教養的科目、メンタルケアとカウンセリングについて、必要な科目の設定、講師の選定、講師へのシラバス作成依頼を行った。

事業活動を円滑に行うため、「こころ化粧療法士」及び「メンタルメイクセラピスト」について商標の出願を行った。

7. その他当法人の目的を達成するために必要な事業

② 社員総会の開催

日時：平成 28 年 6 月 29 日（水） 18:00～18:50

場所：REIKO KAZKI 本社

東京都新宿区左門町 3-1 左門イレブンビル 4 階

報告事項

平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）事業報告の内容報告の件

決議事項

第 1 号議案 平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）計算書類及び財産目録承認の件

第 2 号議案 理事 7 名及び監事 1 名選任の件

第 3 号議案 「入会及び退会規程」及び「会費規程」改定の件

③ 理事会の開催

(ア) 平成 28 年 5 月 23 日（月） 19:00～20:15

決議事項

第 1 号議案 入会申込者審査の件

第 2 号議案 平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）事業報告及び計算書類ならびにこれらの附属明細書及び財産目録承認の件

第 3 号議案 理事候補者 7 名及び監事候補者 1 名選定の件

第 4 号議案 定時社員総会招集の件

第 5 号議案 顧問選任の件

報告事項

理事長の職務執行状況報告の件

(イ) 平成 28 年 7 月 6 日（水） 書面決議

決議事項

理事長選定の件

(ウ) 平成 28 年 10 月 20 日 (木) 18:10~20:00

決議事項

第 1 号議案 化粧品療法士資格認証制度発足及び公益認定等委員会への
公益目的事業の内容変更の申請承認の件

第 2 号議案 化粧品療法士資格認証制度規程、化粧品療法士資格認証制度
委員会規程、及び謝金規程承認の件

第 3 号議案 化粧品療法士資格認証制度委員会及び試験委員会の委員長
及び委員選任の件

第 4 号議案 顧問選任の件

報告事項

理事長の職務執行状況報告の件

(エ) 平成 29 年 3 月 9 日 (木) 19:00~20:30

決議事項

第 1 号議案 入会申込者審査の件

第 2 号議案 平成 29 年度(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31
日まで)事業計画(案)及び収支予算(案)等承認の件

第 3 号議案 経費支出決裁の件

第 4 号議案 規約規程類承認の件

報告事項

理事長の職務執行状況報告の件

8. 活動財源

寄付金、会費等を充当した。

事業報告の附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

以 上

決算報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

公益社団法人 顔と心と体研究会

東京都新宿区左門町 3 番地 1

左門イレブンビル 4 F

貸借対照表

平成29年 3月31日現在

公益社団法人顔と心と体研究会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	1,413,089	1,397,020	16,069
未収金	294,000	561,000	-267,000
未収預金	21,500	10,000	11,500
貯蔵品	13,873	17,252	-3,379
仮払金	0	568	-568
流動資産合計	1,742,462	1,985,840	-243,378
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	7,875	102,375	-94,500
その他固定資産合計	7,875	102,375	-94,500
固定資産合計	7,875	102,375	-94,500
資産合計	1,750,337	2,088,215	-337,878
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	108,880	168,956	-60,076
前受金	6,450	4,000	2,450
前受預金	597,850	6,000	591,850
預り金	46,467	0	46,467
流動負債合計	759,647	178,956	580,691
負債合計	759,647	178,956	580,691
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	990,690	1,909,259	-918,569
正味財産合計	990,690	1,909,259	-918,569
負債及び正味財産合計	1,750,337	2,088,215	-337,878

正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

公益社団法人顔と心と体研究会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,504,000	1,658,000	-154,000
正会員受取会費	1,419,000	1,578,000	-159,000
賛助会費	85,000	80,000	5,000
事業講座収入	1,005,360	918,618	86,742
シンポジウム事業収入	0	57,000	-57,000
メイック講座収入	93,500	0	93,500
メイック講座収入	739,600	530,918	208,682
受取寄付金	172,260	330,700	-158,440
受取寄付金	11,667,184	10,042,855	1,624,329
受取寄付金	11,667,184	10,042,855	1,624,329
雑収益	5	16,059	-16,054
雑収益	5	189	-184
雑収益	0	15,870	-15,870
経常収益計	14,176,549	12,635,532	1,541,017
(2) 経常費用			
事業費	9,361,575	3,486,009	5,875,566
給福会旅通消印賃諸渉委支新雑管	6,593,107	1,240,189	5,352,918
福利信刷料	466,483	31,742	434,741
福利信刷料	61,058	123,629	-62,571
福利信刷料	347,678	367,567	-19,889
福利信刷料	457,531	499,966	-42,435
福利信刷料	241,814	234,218	7,596
福利信刷料	319,024	317,824	1,200
福利信刷料	180,000	177,500	2,500
福利信刷料	646,500	478,438	168,062
福利信刷料	20,000	0	20,000
福利信刷料	12,528	0	12,528
福利信刷料	9,264	14,320	-5,056
福利信刷料	6,588	566	6,022
福利信刷料	0	50	-50
福利信刷料	5,733,543	8,566,388	-2,832,845
福利信刷料	1,213,910	3,779,614	-2,565,704
福利信刷料	92,561	518,119	-425,558
福利信刷料	121,691	51,217	70,474
福利信刷料	172,907	231,865	-58,958
福利信刷料	134,814	205,412	-70,598
福利信刷料	94,500	94,500	0
福利信刷料	221,726	284,437	-62,711
福利信刷料	110,708	17,530	93,178
福利信刷料	176,359	82,816	93,543
福利信刷料	1,153,596	752,352	401,244
福利信刷料	1,000	0	1,000
福利信刷料	1,600	0	1,600
福利信刷料	1,838,109	1,865,520	-27,411
福利信刷料	98,562	545,366	-446,804
福利信刷料	301,500	137,640	163,860
経常費用計	15,095,118	12,052,397	3,042,721
評価損益等調整前当期経常増減額	-918,569	583,135	-1,501,704
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-918,569	583,135	-1,501,704
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-918,569	583,135	-1,501,704
一般正味財産期首残高	1,909,259	1,326,124	583,135
一般正味財産期末残高	990,690	1,909,259	-918,569
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	990,690	1,909,259	-918,569

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品については個別法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

ソフトウェアについては定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	472,500	464,625	7,875
合計	472,500	464,625	7,875

附属明細書

貸借対照表及び正味財産増減計算書(損益計算書)には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第33条に規定する附属明細書「貸借対照表及び損益計算書の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

財産目録

平成29年 3月31日現在

公益社団法人顔と心と体研究会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	53,689
	預金	普通預金	運転資金として	1,359,400
		三菱東京UFJ銀行		728,224
		郵便局		631,176
	未収会費		正会員に係る未収分	294,000
	未収金		事業収益に係る未収分	21,500
	貯蔵品		切手在庫	13,873
流動資産合計				1,742,462
(固定資産)				
その他固定資産	ソフトウェア	会計システム	管理業務の用に供している	7,875
固定資産合計				7,875
資産合計				1,750,337
(流動負債)	未払費用	日本郵便(株)他	事業に係る経費未払分	108,880
	前受金		平成29年度講座参加費	6,450
	前受会費		平成29年度会費	597,850
	預り金		源泉所得税預り金	46,467
流動負債合計				759,647
負債合計				759,647
正味財産				990,690

監査報告書

平成 29 年 5 月 10 日

公益社団法人顔と心と体研究会
理事長 内田嘉壽子 殿

公益社団法人顔と心と体研究会
監事 青木 律



私は、平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）における公益社団法人 顔と心と体研究会の業務及び会計の監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

- (1) 業務監査については、理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討しました。
- (2) 会計監査については、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細並びに財産目録について検討しました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。また、理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (2) 貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を適正に示しているものと認めます。

以上